

## アラカルト講座を行いました！

令和6年6月21日（金）に1年次を対象とした「アラカルト講座」を行いました。今年度は12名の先生方に研究の専門分野や社会との関係等についての講義をしていただきました。



「能登半島地震の被害と地盤」

三田村 宗樹 先生

大阪公立大学 名誉教授



「大学で学生が研究すること」

岸本 直子 先生

関西学院大学工学部 教授



「価値創造の考え方」

鶴田 宏樹 先生

神戸大学価値創発部門長・准教授



「デジタル恐竜学」

柴田 正輝 先生

福井県立大学恐竜学研究所 教授



「未開拓から切り開いたテラヘルツ波工学30年」

斗内 政吉 先生

大阪大学レーザー科学研究所 教授



「エピジェネティクスと生活習慣病」

亀井 康富 先生

京都府立大学生命環境科学研究科分子栄養学研究室 教授



「アルコール多飲で肝臓移植を受けた人は飲酒を止められる？」

山田 隆子 先生

姫路大学看護学部 准教授



「トコジラミによる被害と対策—座学と実験」

野村 美治 先生

アース製薬株式会社研究開発本部 研究部アドバイザー



「エルシーとは？ゲノム情報のプライバシーと遺伝子差別を考える」

瀬戸山 晃一 先生

京都府立医科大学医学基盤教育部長  
大学院医学研究科医学生命倫理学 主任教授  
医学部医学科人文・社会科学教室 教授



「難解な科学をいかに上手に伝えるか」

増田 弘治 先生

京都府立医科大学人文・社会科学教室 研修員  
讀賣新聞大阪本社 記者



「宇宙人、ほんまにおけるの？地球にくるの？で、だからなんやの？」

鳴沢 真也 先生

兵庫県立大学自然・環境科学研究所 専任講師



「おしっこは、健康のバロメーター」

伊藤 美津枝 先生

シスメックス株式会社臨床戦略・学術本部 学術二部  
シニアプランナー

生徒たちは自身が希望する2つの講座を受講しました。どの講座でも専門的な内容をわかりやすく説明していただき、探究活動の進め方や自分の進路について考えるためのアドバイスもたくさんいただきました。講義後、友人と受講した講座の内容について話し合う生徒の姿をたくさん見かけました。生徒たちの興味関心の幅が広がり、とても充実した時間となりました。



トコジラミの実験の様子

<参加した生徒の感想>

テラヘルツ波はこれから私たちが使うかもしれないことを知り親近感が湧きました。

デジタル恐竜は、恐竜発掘の仕方を詳しく知ることができました。発掘する地域によって発掘の仕方が違い面白いなと思いました。今回受けた2つの講座から、探究活動に生かすことができたらいいなと思いました。

6時間目の講座を受けて、生物学が今までよりも興味深いと感じることができました。父親の食習慣が子供の体質につながることや、胎児期での母親の生活習慣によって子供の生活習慣病のリスクが高まるなどをして、その構造などをもっと深く知りたいなと思いました。

大学に進学して講義を受けるだけでなく、自分の興味のあることについて詳しく研究することも大学や大学院の醍醐味であると思いました。講師の先生方が生き生きと自分の研究について語っていて、自分の好きなものを極めることもいいことだなと思いました。今後の進路選択において、自分の興味の幅を広げられるか、自分の好きなことや得意なことを伸ばせられるかを考えて選んでいきたいと思いました。



## サイエンス・カフェを行いました！

アラカルト講座終了後、講師の先生方と自由に会話ができる「サイエンス・カフェ」を行いました。1年次だけでなく、探究活動の進め方や進路に悩む2年次と3年次の生徒も集まり、多くの生徒が参加しました。自分の受講した講座以外の先生のお話を聞いたり、講座内で気になったことを質問したり、進路についての相談をしたりと、話が尽きることがなく、あっという間の時間でした。生徒だけでなく、教員も参加し、先生方との会話を楽しみました。



<参加した生徒の感想（一部抜粋）>

すごく充実した時間を過ごせて楽しかったです。ただ、2時間にしてほしいです。時間が足りません…。



京都府立大学の亀井先生とお話しさせていただきました。それぞれのキャンパスで出来ること、4年間でどのような勉強をするのかなど、大学についてたくさんお話を伺うことができました。

また、私が小学生の頃から今もずっと興味のある農業全般について、私の考えや問題点、解決策について亀井先生の意見やアドバイスもいただき、私にとってとても楽しく、興味深く、有意義なお話をすることができました。